

## 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歴史の遊歩道環境整備事業
事業主体 (連絡先)	歴史の遊歩道を継承する会 (事務委託先：松本市波田商工会 TEL：92-2246)
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業 (6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード事業
総事業費	880,663円 (うち支援金：526,000円)

### 事業内容

松本市波田地区にある波田城址周辺は、歴史の遊歩道として整備されていたが、数年手が入らず沢からの浸食等により通行できない状況が続いていたため、今回地元有志・協賛団体により本事業で改修工事を行なったことで、遊歩道周辺一帯がレジャースポットとしての開発が推進できるために実施した。



【整備事業施工】

### 【目標・ねらい】

- ①歴史の遊歩道への入込増加
- ②レジャースポットとしての位置づけ
- ③地区内の関係団体との連携

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

予定の作業ができなかったこと、それに伴いリーフレットの作成ができなかったため。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

今回、荒廃していた歴史の遊歩道を整備したことにより、周辺にある若澤寺跡・波田城址などの歴史と自然散策ができる身近なウォーキングコースとして活用できた。

今回、台風接近や降雨により日程がずれ込みまた、軟弱な土壌のため作業も当初予定したところまでできなかった。

関係団体との連携はお互いできていた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業は、作業面積が広いことや天候に左右されやすいこと、地質が軟弱等様々な問題が生じ、数年かけて計画的に事業をする必要がある。

今後も、地区の各種団体と連携をとりながらレジャースポットとしての開発を検討していきたい。

知名度の向上を図るためにリーフレットの印刷を検討していく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある